

根室市議会議長 本田俊治 様

会派名(議員名) 無所属 壺田重夫
代表者名

政務活動報告書

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	地域ブランドビジネスの発展策
期間	令和2年6月25日(木)～令和2年6月25日(木)
参加者氏名	壺田重夫
応対者	関東学園大学 講師 経済学部 経済学科 竹村奉文 様
場所	東京都港区三田2丁目15-45 慶應義塾三田キャンパスファカルティクラブ
行程	根室市～釧路空港～羽田空港～上大崎～三田キャンパス
内容・成果等	<p>14時30分～16時00分講義勉強会</p> <p>日本の多くの自治体が40年以上の歴史をもって地域ブランドをテーマにした事業を行ってきたが、そのいずれもが自治体や地域の事情が優先し、民間がらみの一部、商品・産物を除いて成功しているとは言い難い。我が国は先進国の中で唯一の個性を持ち戦後、先進国の仲間入りをした国。</p> <p>明治維新と第二次世界大戦後の二度に渡って西洋文化の大きな波を経験した国、最も西洋文化に迎合した東洋の国。</p> <p>その後、世界一ともいわれた経済大国に発展した。</p> <p>それらの発展の要因は、日本の歴史に裏打ちされたものだと考える。</p> <p>ブランド品＝プレミアム商品という条件を満足させることによって、ふるさと納税で好成績を収めている地域間のマーケットやノウハウ共有が大切。</p> <p>それなくして単独での営業戦略には限度があること等、次回4月～5月の勉強会迄には営業分野のネットワークづくりとこのプロジェクトにおける流通分野の位置付けを含めて組織の成立を目指す。</p>

根室市議会議長 本田俊治 様

会派名(議員名) 無所属 壺田重夫
代表者名

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	コロナ危機における政治とメディア
期 間	令和2年11月6日(金)
参加者氏名	壺田重夫
応 対 者	慶應義塾メディアコミュニケーション研究所 山腰 修三 教授 参加者慶應義塾危機管理ネットワーク全国議員連盟関係者20名程
場 所	東京都港区三田2丁目15-45 三田キャンパス 東館6階 G-LAB
行 程	根室市～釧路空港～羽田空港～上大崎～三田キャンパス～上大崎
内容・成果等	<p>15:20～16:40 ソーシャルディスタンスを取り入れての講義 人々がメディアを活用する自体に、今のメディアをめぐる状況がリスクとして存在するのではなかろうか。日常的なメディアの実践からある種の空気ができる。これが感染拡大に繋がることもある。この空気の制御可能を分析して感染阻止に生かす。 コミュニケーション劣化がパンデミックのリスクになっている。 新聞テレビで政治エリート政治コミュニケーションなどメディアの報道による情報発信にまで含まれるだろう。コロナの政治的、社会的、経済的な危機を乗り越える鍵もコミュニケーションの質。 新型コロナ対応民間臨時調査会の報告書が最近出た。しかし日本社会で何をもたらしたかは踏み込んでいない。</p> <p>多くの人にとっては、新型コロナの危機とはメディアを通じた経験であること。特に具体的に周りに感染者がいない状況では多くの一般の人たちにとっては、コロナはネットやテレビなどのメディアを通じた経験でしかない。そうしたメディアを通じた経験でも不満を感じ恐怖を感じ、現実世界を自粛したり、感染者差別やフェイクニュースを拡散したりのリスクをはらむ。ワイドショーは情報番組、ニュースは報道番組というカテゴリー。両者は違う品質である。ところがこれらの2つを区別している視聴者は少ない。ワイドショーはコメンテーターの発信で進行するスタイル。必ずしも専門家ではなく感想に近く、一般の人たちの空気の一部を反映していると言える。ワイドショーはそういった一般の空気や雰囲気を作り出す媒体と化す。ここで自粛警察が起こってくる。河原でバーベキューを非難する。商店街やパチン</p>

コ店など自分たちで撮影してアップロードするソーシャルメディア。お互いにお互いが同じような伝説を作っていく共振関係がある。台湾政府と民間とのコミュニケーションの成功が対照的だ。「いくらでも説明に答えます。」というスタンスと比較すると、日本政府は不十分であった。メディア経験としてのコロナ危機の中で専門家に納得して信頼して対応していたのではなく、日本は同調圧力の空気の中で対策していたという事だ。こういう空気がマスクでも、マスクをしている量はアメリカと段違いだ。アメリカと比べて日本はマスクをしているが、これは同調圧力によるものであり、それが度を過ぎて自粛警察や差別などの土壌となった。民間報告書では危機対応コミュニケーション課題として3つ挙げている。

1. 危機管理コミュニケーションの体制の未確立

新型インフルエンザ対策総括会議2010年6月の報告書では、広報リスクコミュニケーション体制制度の見直しや検討と事前準備、運用上の課題、国民への広報やリスクコミュニケーションを専門に取り扱う組織を設け、人員体制を充実させるべきである。広報責任主体を明確化し、広報内容の一元化を図るべきである。しかしそうになっていないので、この提言が生かされていない。行動変容と情報発信が成功したにも関わらず、政府のコロナ対策における国民の高い評価に繋がらなかった要因の一つは官邸・内閣官房・厚労省のいずれにおいても危機対応コミュニケーション体制が十分に確立されていなかったことが指摘できる。これにより官邸運営への批判や政府と専門家との間で役割分担と説明責任が不明確になった事態を引き起こした可能性は否定できない。

2. 全体戦略の不透明さ

全国的なビジョンと中長期的な展望にかけていたので、明確な説得力がなかった。2月3日の時点でどういう視点で対応しているのかが分かりにくい。3月の終わりにNHKスペシャルでは専門家会議のクラスター対策班を密着取材していて、それを見ているとクラスター対策班が何を考えて、何をしようとしたのかがわかる。なぜ、その内容を政府が説明していないのか。4月7日緊急事態宣言で安倍首相は国民に人との接触を7～8割削減とのメッセージを出したが、どういう段階になれば解除されるのか示すことができなかった。何のためにやるのかということが説明不足。

3. 国民不安不満批判への対応不足

PCR検査問題、感染者への誹謗中傷、差別、偏見など国民の不安不満批判などを拾い上げて対応を発信するのも後手に回る。PCR等検査や誹謗中傷、差別、偏見はいずれも国民に影響を与える重大な問題であり、これに対する状況説明と対応方針に対する不甲斐なさが政府に対する国民の評価を低下させた要因の一つと考えられる。これらが政府への信頼感をなくすことに繋がった。PCR検査の在り方の説明が欠けていた。安倍首相は4月7日に検査能力の倍増を約束したのに、5月4日の会見では目詰まりとなった。かえって不満を起し

た。首相会見の少なさ、政府官邸と専門家会議と知事とメディア会議との課題がある。リーダーの会見をもっときっちりやるべきだ。緊急事態宣言解除まで8回しか首相の会見がない。その後さらに少なくなる。2月29日に一回目の会見は36分で質問を打ち切る。その後も1時間前後で質問を制約するスタイル。なぜか？今回のコロナ対応に限ってのことではなく、これまでの政府のメディア対応がそうだったからということに尽きる。メディアの先の世論を見ていないメディアだけへの会見。平成からそうだったのだ。
等の講義を視聴致しました。

根室市議会議長 本田俊治様

会派名(議員名) 無所属 壺田重夫
代表者名

政務活動報告書

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	まちのつくり方改革久喜市が目指すもの
期間	令和2年11月6日(金)
参加者氏名	壺田重夫
応対者	久喜市長 梅田修一様 参加者 慶應義塾危機管理ネットワーク全国議員連盟役員関係者20名程
場所	東京都港区三田2丁目15-45 三田キャンパス 東館6階 G-LAB
行程	根室市～釧路空港～羽田空港～上大崎～三田キャンパス～上大崎
内容・成果等	14:50～15:20 ソーシャルディスタンスを取り入れての講義 土地の高度利用促進、市街地の整備 スポーツ振興推進、市民ランナーの聖地化 シニア世代が更に続き、活躍する久喜市を創造 ・市民大学(まなびすとカレッジ)市民の生涯学習及びボランティア活動への理解を深め、まちづくりのリーダーとなる人材を育成 ・高齢者大学(生きる喜びいつまでも)高齢者に対し、実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを高める。 ・放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)地域の方々の参画を得て、子供たちに様々な活動の場を提供し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進 新たなごみ処理施設整備についての卓話を視聴致しました。

根室市議会議員 本田 俊治 様

会派名(議員名) 無所属 壺田 重夫
代表者名

政務活動報告書

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	新座市がすすめるまちづくり
期間	令和2年11月6日(金)
参加者氏名	壺田 重夫
応対者	新座市長 並木 傑 様 参加者 慶應義塾危機管理ネットワーク全国議員連盟役員関係者20名程
場所	東京都港区三田2丁目15-45 三田キャンパス 東館6階 G-LAB
行程	根室市～釧路空港～羽田空港～上大崎～三田キャンパス～上大崎
内容・成果等	<p>14:20～14:50 ソーシャルディスタンスを取り入れての講義 新座市の更なる発展に向けて「住んでみたい」、「ずっと住み続けたい」と思っていただけの「選ばれたまち」になるために「市民くらし満足度ナンバーワン新座」に向けて、8つの項目</p> <p>1・安全安心な街、防災・減災・感染症防止 あらゆる災害に対応できる強じんなまちづくり *避難所施設の環境改善 *旧耐震建設物の耐震化促進</p> <p>2・子どもにやさしく、高齢者を大切にするまちづくり *待機児童をゼロへ(保育施設の整備、保育士不足の解消) *市北部地域への児童センターの増設 *健康寿命を伸ばすための予防医療、介護予防の充実 *妊娠期から就学時まで切れ目のない子育て支援を行う「利用者支援事業」の充実 *高齢者相談センターの拠点増強</p> <p>3・日本一輝く学校づくりを目指すまちづくり *小・中校舎の計画的な改修(第二中学校校舎大規模改修工事から実施) *個別最適化された教育推進のため、ICT教育の充実を図ります。 *いじめ不登校ゼロを目指し、各カウンセリング、相談業務を充実させます。 *大学と連携した活動センターの創立</p>

4・ダイバーシティ、SDGsの取り組みを進めるインクルーシブなまちづくり

- * 男女共同参画社会の推進
- * SDGsの取組推進
- * 生活困窮世帯への支援
- * ユニバーサルデザインのまちづくり

5・地元で働く人が豊かになり共に新座市の発展を目指すまちづくり

- * 新座市産業振興基本計画の策定

6・魅力満載、楽しさ満載、エキサイティングなまちづくり

- * 市政施行50周年の啓発、記念事業などの実施
- * 大和田三丁目地区の公園整備
- * 新座市の見どころを歩いて巡るための歩道整備

7・先端情報技術を取り入れた利便性の高い、住んでいて心地よいファシリティ（公共施設）が充実したまちづくり

- * 移設・複合化による保健センターの機能強化、歴史民俗資料館の充実
- * にいざほっとぷらざのリニューアル
- * 市南部（道場）地区における公共施設の整備強化
- * にいバスの充実、新たな公共交通ネットワークの構築

8・新しい住宅空間、新しい公共都市づくり

- * 新座北口土地区間整理事業の推進
 - * 都市計画道路の早期整備
 - * 新座スマートICの設置及び市中央部の市街化区域編入
 - * 地下鉄12号線延伸の促進
- 新型コロナ緊急経済対策等のお話を視聴致しました。

根室市議会議員 本田俊治様

会派名(議員名) 無所属 壺田重夫
代表者名

政務活動報告書

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	災害と福澤諭吉先生
期間	令和2年11月6日(金)
参加者氏名	壺田重夫
応対者	福澤研究センター准教授 都倉武之様 参加者 慶應義塾危機管理ネットワーク全国議員連盟役員関係者20名程
場所	東京都港区三田2丁目15-45 三田キャンパス 東館6階 G-LAB
行程	根室市～釧路空港～羽田空港～上大崎～三田キャンパス～上大崎
内容・成果等	13:00～14:20 ソーシャルディスタンスを取り入れての講義 福澤諭吉先生が書いた時事新報社よりの新聞出版 内容：不偏不党という立場で議論する出版方法 一例、磐梯山噴火被災者支援、義援金募集に際して福澤自身募金。 いくら出すかではなくて、出した順に並べているのが福澤の精神気持ちが大事) という事を書いてある。何故、福澤がこのように義援金に対して積極的だったか。「金額的ではない、一人でも多くの人が参加することに意義がある。」と社説で書いてある。「そもそも人の集まりて社会を組織するその目的を尋ねれば、自他相結び助けて生を営み、共同の力を用いてもって営生の行路に横たわる百般の困難にうち勝たんとするにあり。而して政府はその共同を堅固にしてもって助成の組織を維持せんがために設けたるものなれば、常に社会の害毒を除きてその秩序を保ち、人民よりは報酬としてこれに租税を納むることにして、その趣はあたかも政府が人民より租税と名付くる保険料を取り立てて、その生命財産を保険するものに異ならず。ゆえに人民にしてもしもその罪にあらずして禍災に遭う者あるときは、政府は出来るだけの力を尽くしてこれを保護する義務あるものと知るべし。」と説いてある。後は、医学と政治の問題、学問と政治の問題等の講義を視聴致しました。

根室市議会議長 本田俊治 様

会派名（議員名） 無所属 壺田重夫

代表者名

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	危機管理 人口減少
期 間	令和2年7月13日（月）～ 令和2年7月13日（月）
参 加 者 氏 名	壺田 重夫
応 対 者	釜石市長野田武則様、釜石市副市長窪田優一様、釜石市議会事務局 長 小笠原勝弘様、釜石市議会議員 大林正英、磯崎翔太、古川愛 明、三浦一泰、遠藤幸徳、平野弘之 様 社会福祉法人 陽風会 事務長 佐々木守様
場 所	〒026-8686 岩手県釜石市只越町3丁目9番13号 釜石市役所
行 程	根室市瑛瑤瑠～盛岡駅～釜石～ホテル～いのちをつなぐ未来館～橋 野鉄鋼世界遺産～釜石市役所～ホテル～釜石駅～根室市瑛瑤瑠
内 容 ・ 成 果 等	市長、副市長 コロナ0の岩手県 なぜコロナの感染が起きないよ うにできているのか。市民意識、生活習慣などに尽きるのではない か。 根室市と同様に水産の街、人口減少等についてお話頂きました。 市議会議員との懇談し、地域の話題 議会のあり方などの意見交換 を致しました。 大林議員と佐々木守元危機管理監と防災についての意見交換をしま した。 3. 1 1 の経験、優秀なコロナ対策、自主防災組織のありかた等々 についても意見交換も致しました。

報告番号 3 号
令和2年11月20日

根室市議会議長 本田俊治 様

会派名（議員名） 無所属 壺田重夫

代表者名

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	地域創生
期 間	令和2年7月13日（月）～ 令和2年7月13日（月）
参 加 者 氏 名	壺田 重夫
応 対 者	釜石観光ガイド会 案内人 三浦 勉 様
場 所	〒026-0411 岩手県釜石市橋野町第2地割15 橋野鉄鋼山【世界遺産】
行 程	根室市瑛瑤瑠～盛岡駅～釜石～ホテル～いのちをつなぐ未来館～橋野鉄鋼世界遺産～釜石市役所～ホテル～釜石駅～根室市瑛瑤瑠
内 容 ・ 成 果 等	北限の鉄鋼山で、もともとは新日鉄の城下町だった釜石市であるが、 9万人ほどの人が新日鉄撤退と同時に人口減少が始まり、 現在33,000人となっている。 鉄鋼山が市中経済に与えた影響、鉄分の人体に対する恩恵などについて説明を受けたがこれらを観光資源ととらえればその発展には無理がある。

報告番号 2 号
令和2年11月20日

根室市議会議長 本田俊治 様

会派名（議員名） 無所属 壺田重夫

代表者名

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	防災 危機管理
期 間	令和2年7月13日（月）～ 令和2年7月13日（月）
参 加 者 氏 名	壺田 重夫
応 対 者	いのちをつなぐ未来館 地域創生事業部鶴住居トモス運営課 菊池 のどか 様
場 所	〒026-0301 岩手県釜石市鶴住居町第16地割72番地1 いのちをつなぐ未来館
行 程	根室市瑯瑯～盛岡駅～釜石～ホテル～いのちをつなぐ未来館～橋野鉄鋼世界遺産～釜石市役所～ホテル～釜石駅～根室市瑯瑯
内 容 ・ 成 果 等	案内 菊池 のどかさん 3. 11 当時中学生だった時の様子。 実際の避難時の実態説明を聞いた。

報告番号 1 号
令和2年11月20日

根室市議会議長 本田俊治 様

会派名（議員名） 無所属 壺田重夫

代表者名

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	『観光振興』 『人口減少問題』
期 間	令和2年 4月15日（水）～ 令和2年 4月15日（水）
参 加 者 氏 名	壺田 重夫
応 対 者	経済学者 石井 至 様
場 所	〒108-8640 東京都港区白金台1-1-50 シェラトン都ホテル東京
行 程	上大崎1丁目～シェラトン都ホテル東京～上大崎1丁目
内 容 ・ 成 果 等	観光振興・人口減少問題について今の根室市の現状等をお話し、ご意見等を伺いました。 結論としては、今の状態、考え方だと非常に厳しく無理だというお話でした。